

中国部品メーカーに不良を作らせない 設計プロセス改革講座

～出図→見積依頼→部品メーカー選定→金型作製→量産の全設計フローに沿って解説～

これらのことが
学べる講座です。

- ① 日本企業と違う中国部品メーカーとの関係性
- ② 不良を出さない中国工場製造ラインの構築方法
- ③ 漏れのない設計情報の伝達方法
- ④ 設計者目線の中国部品メーカーの選定方法
- ⑤ 曖昧な表記をなくす図面の描き方
- ⑥ 中国特有の見積依頼の注意点

(本講座は内容の一部を除きタイ・ベトナム・インドネシアなど東アジアの国々でも共通の内容です。)

日時 2019年 1月 21日(月) 10:00～17:00
(9:30 受付開始、休憩 12:30～13:30)

主催  日刊工業新聞社

会場 日刊工業新聞社 大阪支社 セミナー会場
(大阪市中央区北浜東 2-16)

受講料 43,200円 (資料含む、消費税込)
*同時複数人数お申し込みの場合2人目から38,880円

大阪会場(日刊工業新聞社 大阪支社10階)
大阪市中央区北浜東2-16 TEL: 06(6946)3382

*天満橋駅(京阪電車、地下鉄谷町線)下車徒歩3分
■新大阪駅から地下鉄御堂筋線(新大阪→淀屋橋)北側出口 乗換、
京阪電車(淀屋橋→天満橋)西改札口
■大阪駅から地下鉄谷町線(東梅田→天満橋)北側2番出口



日刊工業新聞社 大阪支社 セミナー会場
〒540-0031 大阪市中央区北浜東2-16
※会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関でご来場ください。
※講義の録音・録画は固くお断りいたします。

●申込方法
申込書を郵送又はFAXにて下記にお申し込みください。ホームページからもお申し込み
できます。(http://corp.nikkan.co.jp/seminars/) 受講料は銀行振込で受講票及び
請求書が到着次第、開催日1週間前までにお支払いください。
なお、キャンセルにつきましては開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間
前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。
振込手数料は貴社でご負担願います。

口座名義	りそな銀行	東京営業部	当座	656007
(株)日刊工業新聞社	三井住友銀行	神田支店	当座	1023771
	みずほ銀行	九段支店	当座	21049
	三菱UFJ銀行	神保町支店	当座	9000445

●申込先 日刊工業新聞社 業務局 イベント事業部 技術セミナー係
〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)
TEL 03 (5644) 7222 FAX 03 (5644) 7215
e-mail : j-seminar@media.nikkan.co.jp

受講申込書		1/21 中国設計管理		お申し込みは FAX 03-5644-7215	
■受講料: 43,200円 (資料含む、消費税込) *同時複数人数お申し込みの場合2人目から38,880円		※振込手数料は貴社にてご負担ください。			
会社名	フリガナ	業種			
氏名	フリガナ	TEL			
	部署・役職	FAX			
所在地	〒	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は チェックをしてください。 <input type="checkbox"/>			
	E-mail:				

開催主旨

日本のモノづくりが中国を初めとするアジアで行われるのが当たり前の現在、日本人は相変わらず不良品などのトラブルに悩まされ続けています。

中国で不良品などのトラブルが発生する原因にはもちろん中国の部品メーカーの問題もありますが、講師のソニー（株）在職中での中国駐在を含む7年の経験から、依頼する側の**日本人にも問題がある**ことが分かりました。それは世界でもトップクラスにある日本の優秀な部品メーカー、いわゆる匠の職人のいる町工場に頼り、「**あうんの呼吸**」でモノづくりをしてきた仕事の仕方を、そのまま中国にも持ち込んでいたからでした。

中国でのモノづくりには、中国人の国民性や仕事の仕方を理解し、確実に私たちの意思を伝える会話の仕方や情報の伝え方を知ること、そしてこれまでの日本の部品メーカーでは必要のなかった製造現場の確認も必要です。

中国の部品メーカーの品質管理の改善にいつまでも期待する「**他人依存型**」ではなく、日本の設計者が**中国人へのアプローチ方法を改善する「自己改善型」**が重要です。また設計が完了した後の製造での品質改善に期待する「**事後処理型**」ではなく、**商品化設計プロセスの段階から改善していく「源流管理型」**も重要です。

講師の設計者の経験と中国での製造現場での実体験を元にした、即実践できる非常に具体的な内容となっており、貴社での不良品などのトラブル減少に役立ちます。

中国をメインにした内容ですが、タイやベトナムなどの他の国々でも活用できる内容となっております。

受講対象 中国の部品メーカーの不良品やトラブルでお困りの企業様(家電、AV機器、測定器、装置などのメーカー)

講師

中国トラブルゼロ設計相談所 ロジ 代表 **小田 淳 氏**

【略歴】 ソニー（株）において2016年までの29年間、プロジェクター・業務用モニターの商品化設計を行い、合計11シリーズを市場に出す。4年半の駐在を含む退社前の7年間は、中国で日本の設計者と中国の部品メーカーとお橋渡し業務を行う。この中国経験において、日本人設計者が中国で不良品などのトラブルを起こすのを目の当たりにし、この原因が実は日本人側にもあることに気づく。その対応を自らが実践していくことによって、「中国でトラブルのないモノづくりの方法」のノウハウを体得していく。そのノウハウによりアルミ部品においては不良率(直行率)を12%改善することができた。
現在はロジを設立し、そのノウハウを伝えるべくセミナーやコンサルを開催中である。

プログラム (※印の3箇所以外は中国以外でも共通の内容です。)

1) 中国部品メーカーとトラブルを回避する 3つのアプローチ

- ・ 中国人特有の仕事の仕方と部品メーカーとの関係性 (※)
- ・ 言いたいこと100%伝える会話と設計情報の伝達
- ・ 作業者の入れ替わりの多い製造ラインの品質安定化

2) 中国人を理解する5つの国民性(※)

- ・ 分断された業務範囲
- ・ 強い自己判断
- ・ 希望的観測
- ・ 外観より機能優先
- ・ プライド優先の返答

3) 中国部品メーカーとの関係性3つのポイント

- ・ 1次と2次加工メーカーとの関係性
- ・ 2次加工メーカーへの対応方法
- ・ 日本商社を通す場合の注意点

4) 確実な会話と設計情報の伝達3つのポイント

- ・ 日本語通訳に100%情報を伝える会話の方法
- ・ 確実の依頼事項を伝える情報伝達の方法
- ・ 確実に依頼事項を伝える会議進行とメールの出し方

5) 製造ラインの品質安定化

- ・ 治具の確認方法
- ・ 作業標準書の確認方法
- ・ QC 工程表の確認方法
- ・ 検査治具、梱包、工場内搬送の確認方法

6) 設計者目線の中国部品メーカーの選定方法

- ・ 仕事のし易さのポイント
- ・ 技術的確認ポイント
- ・ 内製と外注の確認

7) 曖昧さを無くす図面の描き方

- ・ 曖昧な表記を無くす方法
- ・ 品質事項の記載
- ・ 中国固有の表記

8) 中国特有の見積依頼の注意点

- ・ 見積の依頼方法
- ・ 見積書の確認方法

9) 中国部品メーカーの訪問基本3パターン

- ・ 初めての訪問で確認すべきこと
- ・ 問題発生時の訪問で確認すべきこと
- ・ トライ時の訪問で確認すべきこと

10) 想定できないトラブル3事例

- ・ ODM でのトラブル
- ・ 模倣副資材のトラブル
- ・ プレスダボのクラック不良

11) 中国で必ず突き当たる法規制

- ・ 企業標準の基本 (※)
- ・ 保税生産の基本
- ・ 増値税の基本